

第 31 回全日本リレーオリエンテーリング大会 プログラム



番匠峰古墳

開催期日 2023年2月5日(日) 雨天決行・荒天中止

競技場所 栃木県矢板市幸岡 1955「矢板市 矢板運動公園」周辺

競技会場 「緑新スタジアムYAITA (矢板運動公園陸上競技場)」

主催 公益社団法人日本オリエンテーリング協会 (JOA)

主管 栃木県オリエンテーリング協会内 2022 年度全日本リレー大会実行委員会

後援 スポーツ庁、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、公益財団法人日本スポーツ協会、
栃木県、栃木県教育委員会、矢板市、矢板市教育委員会

協賛 (株)ニチレイ



スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

新型コロナウイルス感染拡大防止対応

必ずお読みください

本大会の参加者のみなさまへ、新型コロナウイルス感染症対策として以下のような行動をお願いいたします。

【大会参加にあたり事前の準備事項】

▶体調管理シートの提出

当日朝ご来場される前に検温と体調確認を実施いただき、Web上の[フォーム](#)（リンク設定あり。QRコードも参照）にて提出してください。もしくは、大会公式Webサイトに添付した「体調管理シート」に記載し、大会受付にて提出してください。各自で体調管理を行う他、大会参加前には人流が多い場所への移動をできる限り控えるようお願いいたします。



▶ワクチン接種もしくはPCR検査の実施

新型コロナウイルスワクチンの接種、もしくは大会前3日以内のPCR検査や、大会前日の抗原検査を積極的に実施してください。ワクチン接種証明書やPCR陰性証明等は必ずしも提出する必要はありませんが、参加される方の健康を守るために、積極的な実施をお願いいたします。

【大会当日に特に避けていただきたい行為】

▶フィニッシュ後など、マスクなどを着用せずに競技者同士が会話すること

▶近い距離で会話をしながら飲食をすること

▶トイレ、更衣室などの密閉空間でマスクなどを着用せずに会話すること

▶大きな声での会話や応援を行うこと

【推奨する行動】

▶体調がすぐれない場合、感染症罹患が疑われる場合は参加を見合わせる。

大会当日、会場入口にて検温を行います。体温が37.5℃以上の場合は参加をお断りいたします。

▶競技以外ではマスクを着用する。会話は最小限にする。

▶密集しない。受付時などは、間隔をあけて並ぶ。

【その他】

▶大会後に新型コロナウイルスに感染した場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

▶体調がすぐれない場合とは例えば以下のような症状を指します。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状、倦怠感や息苦しさ、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等）

▶感染症罹患が疑われる場合とは、新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合を指します。

▶こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をしてください。

【注意！】地図の採用縮尺が全クラス 1:7,500 に変更になります！

理由: 植生の変化が想定より激しくコース上の制約が増した為、より読図しやすい縮尺で行うことと致します。

1 競技役員

実行委員長 山川 克則 (栃木県オリエンテーリング協会)
運営責任者 荻田 育徳 (栃木県オリエンテーリング協会)
運営副責任者 坂野 翔哉 (坂野山遊地図企画)
競技責任者 宮西 優太郎 (宮西山野精図)
コース設定者 高野 兼也 (新潟県オリエンテーリング協会)
イベントアドバイザー 渡辺 研也 (福島県オリエンテーリング協会)
渉外責任者 山川 克則 (栃木県オリエンテーリング協会) rmo-s.yamakawa@nifty.com
スタッフ

西村 徳真、的場 洋輔、仁多見 剛、友田 賢吾、岡崎 良昭、大野 政男、八尋 弓枝、久保忠一、宮本 忠雄、菊池 園江、薄井 礼子、藤岡 克利、神戸 鍊一郎、若松 甫、河野 隼司、藤原 悠平、山川 順子、小野 賢二、高村 卓、高村 陽子 (順不同、26名)

2 スケジュール

2月4日(土) テクニカルミーティング

トレーニングコース・プレイベントは開催しません。開会式は当日の競技開始前に開催します。

16:00 ~ 前日問合せ: 全日本スプリント会場 (栃木県真岡市井頭公園)

特に前日に受付してお渡しするものではありません。

16:20 ~ 16:50 テクニカルミーティングほか 全日本スプリント会場

(zoom 併用、アドレスおよび事前資料は JOA の web 等に掲載します)

(競技・運営上の諸注意、テレイン情報、質疑応答)

※全日本リレーテクニカルミーティングは、全日本スプリントエクストラレースと同時刻に行いますので、テクニカルミーティング参加の方は同レースには出場できません。

2月5日(日)

第31回全日本リレーオリエンテーリング大会

会場: 「緑新スタジアム Y A I T A (矢板運動公園陸上競技場)」

8:30 開場

8:30 受付 (~9:45) 地図・SI・ナンバーカード他はここでチーム毎に各都道府県選手団でまとめて配布します。

9:00 一般クラス走順票 提出締切

9:30 開会式

10:20 ME クラス 1走招集

10:30 ME クラス 1走スタート

10:35 WE MS WS クラス 1走スタート

10:40 MJ WJ クラス 1走スタート

10:45 MV WV XV XJ クラス 1走スタート

10:50 R1 R2 R3 クラス 1走スタート

12:30 (予定) 地図自己回収終了 (後述の説明をお読みください)

13:40 (予定) 繰り上げスタート (競技時間: 90分)

13:50 (予定) 表彰式 (順位決まり次第)・閉会式

15:10 フィニッシュ閉鎖

問い合わせ先（2月3日まで）

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会 全日本リレー大会係

TEL : 03-5843-1907 FAX : 03-5843-1913 E-mail : entry@orienteering.or.jp

大会前日及び当日（2月4日、5日）の問い合わせ先、緊急時の連絡先

090-7443-4588（オノ）

大会中止の判断

- ・選手の安全性を鑑み、気象状況により大会を中止する場合があります。
- ・中止する場合は、大会ウェブサイト（<https://orienteering.sakura.ne.jp/jroc/2022tochigi/>）に当日7:00までにその旨を掲載する予定です。
- ・大会中止の場合でも、参加料の返金はありません。ご了承ください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大のため、都道府県をまたぐ移動が禁止となった場合は、開催を中止する場合があります。

【大会を彩る出店ご案内】

1. ふぁみりい様 いつもの定番“けんちんうどん”（絶品！）やピザ・おにぎりのお店です。
2. JOA パートナーでもあるサルミング社様から代理店様の出店（靴やグッズ等）
3. その他、ノルディックスポーツ様、おさき様より靴・グッズの販売

これからの出店希望も受付しますので山川（宛先は前ページ）まで問合せ下さい。

【前日矢板市内にお泊りになる方への特典ご案内】

18 ページにある宿泊証明書に必要事項を記入し、宿泊施設に宿泊証明の押印をいただいて下さい（団体記入も可能な方式）。それを大会本部に提出しますと、今大会の全コントロール図を無料進呈致します。（但し先着100名様までとし、団体様がそれにあたって100名分まで打ち切りとなります）

3 ごあいさつ



祝 辞

スポーツ庁長官
室伏 広治

第31回全日本リレーオリエンテーリング大会が、栃木県にて盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

スポーツ庁におきましては、昨年4月にスタートした第3期スポーツ基本計画に基づき、スポーツが生涯を通じて人々の生活の一部となることで、スポーツを通じた「楽しさ」や「喜び」の拡大、共生社会の実現など、一人一人の人生や社会が豊かになるという「スポーツ・イン・ライフ」を目指して、スポーツの振興を図るための施策に取り組んでいます。

このような中、リトルジュニアからスーパーベテランまで幅広い年齢層の選手が参集し、同じトレインの中で、それぞれ地図を片手にゴールを目指して自然の山野を駆け巡り、タイムを競い合う本大会は、生涯スポーツの振興を図る上で大変意義深いものであります。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されるとともに、最後まで諦めることなく、戦略的なルートチョイスを行い、ゴールを走り抜けてください。また、今後ともオリエンテーリング競技をはじめとする様々なスポーツを楽しんでいただき、「スポーツ・イン・ライフ」を多くの仲間とともに実現されることを期待しております。

結びに、感染症対策を講じながら本大会の開催に御尽力された公益社団法人日本オリエンテーリング協会をはじめ、関係の皆様にご心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功とますますの御発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。



ご 挨拶

栃木県知事
福田 富一

この度「2022年度全日本オリエンテーリング2日間大会 in 栃木（第15回全日本選手権スプリント競技部門・第31回全日本リレーオリエンテーリング大会）」が、栃木県において盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました選手、役員及び関係者の皆様を心から歓迎いたします。

昨年10月には、本県では42年ぶりとなる「いちご一会とちぎ国体」本大会並びに、本県では初開催となる全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されました。長期化するコロナ禍等により、国民体育大会は3年ぶり、障害者スポーツ大会は4年ぶりの開催となりましたが、万全の感染症対策のもと、本県選手をはじめ、全国トップレベルのアスリートが熱戦を繰り広げ、多くの皆様に夢や感動を届けることができたと感じております。

さて、県政の基本指針となる重点戦略「とちぎ未来創造プラン」では、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」を契機として、すべての県民が生涯を通じてスポーツを「する」、「みる」、「支える」ことができる環境づくりを推進しています。こうした中、本大会が開催されますことは、国体開催で高まった県民のスポーツに対する機運を更に後押しし、県内のスポーツ振興に大いに寄与することと期待しております。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、互いの健闘を称え合うことができる素晴らしい大会となりますことを心から願っております。また、この機会に市町村別産出額全国1位を誇る真岡市のいちごや、樹上完熟が特徴の矢板市のりんごをはじめ、全国に誇る栃木の味覚や豊かな大自然を御堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり、御尽力いただきました関係者の皆様にご深く敬意を表しますとともに、本大会の御成功とオリエンテーリング競技の益々の御発展、並びに参加されます皆様の御活躍を祈念申し上げまして祝辞といたします。



ご挨拶

矢板市長
齋藤 淳一郎

第31回全日本リレーオリエンテーリング大会が矢板市で開催され、全国から多くの選手の皆様に御越しいただきますことは誠に喜ばしく、矢板市民を代表して心から歓迎申し上げます。

矢板市は、東北自動車道や国道4号、JR宇都宮線が市内を縦貫しており、交通の便が優れている一方、日光国立公園の一部である八方ヶ原や、日本遺産の構成文化財である「山縣有朋記念館」や「矢板武記念館」、があり、豊かな自然や文化が魅力的なまちです。

昨年は第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体において、デモンストレーションスポーツとしてオリエンテーリング競技大会を矢板運動公園で開催しました。

こうした特性や魅力を活かし、スポーツ大会や合宿の誘致など、スポーツと観光を結び付けたスポーツツーリズムの推進に取り組んでおります。

令和6年度には文化スポーツ複合施設「未来体育館」の開業を予定しており、スポーツツーリズムの拠点施設として最先端のトレーニング環境の整備や、各種運動機能データを活用したサービスの提供に向けて準備を進めております。

全国各地からこの大会に参加される皆様には、矢板市の豊かな自然や歴史、食を堪能いただくとともに、今後も大会や合宿等で矢板市を選んでいただければ幸いです。

結びに、感染症対策を講じながら、大会開催にあたり御尽力いただいた関係の皆様に深く敬意を表すとともに、本大会に参加される皆様の御活躍を祈念申し上げます、歓迎のあいさつといたします。



主催者あいさつ

公益社団法人
日本オリエンテーリング協会
会長 堀井 学

第31回全日本リレーオリエンテーリング大会を栃木県矢板市で開催する運びとなりました。主催者を代表してごあいさつ申し上げます。

今回のトレインは里山を中心に、斜度、通行可能度等どこをとっても変化に富み、地図と地形を読む力、ルートを選択する力、走力といったオリエンテーリングならではの實力を問われるエリアと聞き及びます。この特徴的な地で、それぞれの所属を代表する選手の皆様がベストの成績をあげられますよう、ご健闘をお祈りします。また、幅広い年齢層の参加者が「チーム」として熱戦を繰り広げるといのがリレー大会の醍醐味でしょう。世代を超えたコミュニケーションが広がり、互いに良い刺激が得られることを期待いたします。

私たちは、2022年度の大会を2022年度内に開催できるという「普通」を取り戻すことに、三年を費やしました。しかし、全国から選手・参加者が集まるスポーツイベントを開催するということには、いまだに大きな懸念が伴います。皆様にはマスク着用等感染防止対策に、引き続きご協力をお願いします。

そして、この素晴らしい舞台での開催に向けてご尽力された、栃木県オリエンテーリング協会の皆様には深く敬意を表しますとともに、改めて厚くお礼申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたりご後援いただきましたスポーツ庁、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、公益財団法人日本スポーツ協会、栃木県、栃木県教育委員会、矢板市、矢板市教育委員会、また多大なるご協賛をいただきました関係各位に心からお礼申し上げます、ごあいさつといたします。

4 会場等交通案内



参加者駐車場について

「緑新スタジアムY A I T A (矢板運動公園陸上競技場)」前の駐車場にとめて下さい。十分な駐車スペースがあるため、駐車券は発行しません。使用できるのは陸上競技場前スペースのみです。他のスペースは競技エリアにあたるので駐車禁止です。

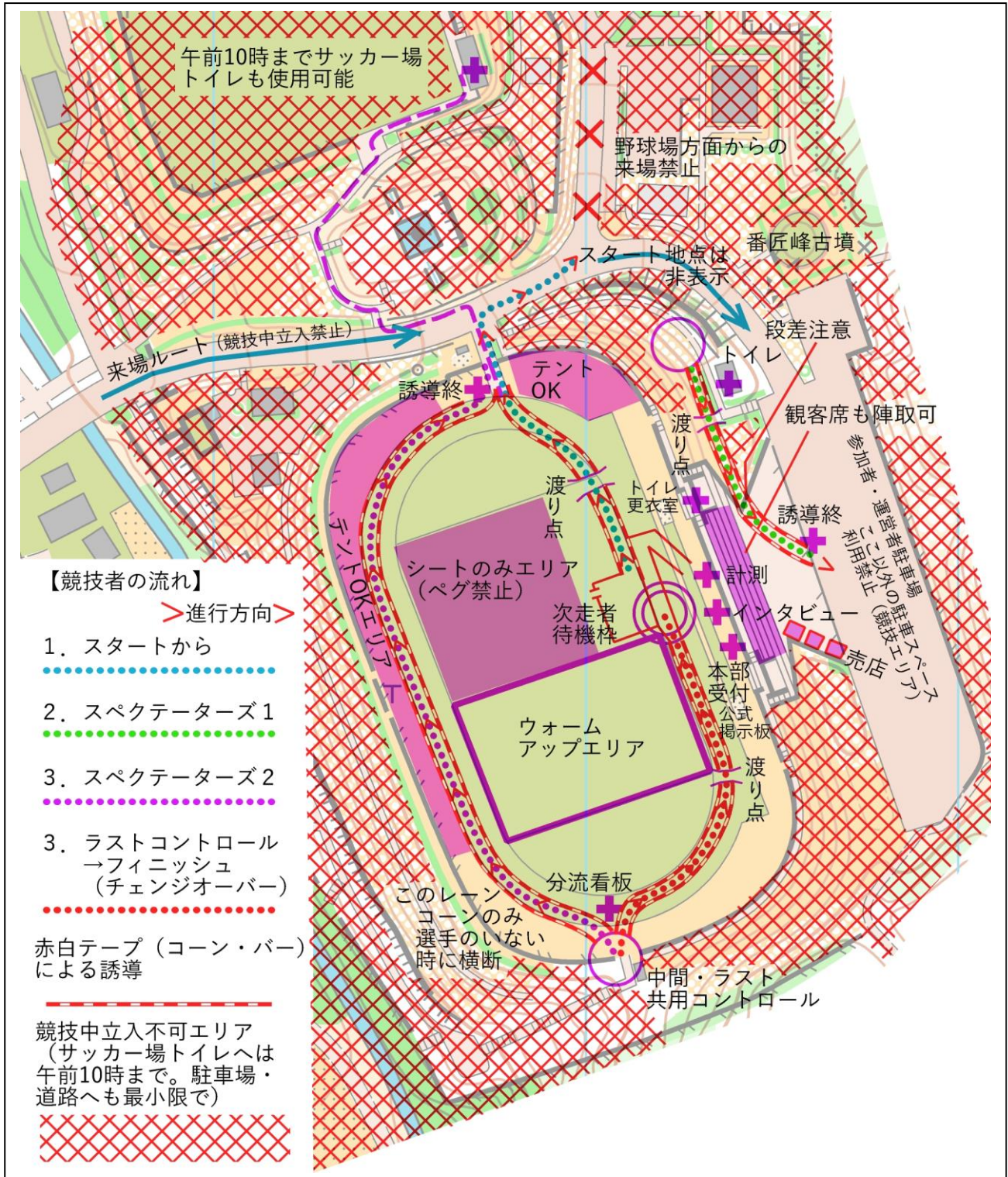
- ・ 駐車場では係員の指示に従って下さい
- ・ 駐車場内では、お互いに注意協力して駐車してください。
- ・ 主催者は事故の責任を負いません。

バス輸送について。

バス輸送はありません。

矢板駅より徒歩(約4km)もしくはタクシー(予約リンク:<https://www.taxisite.com/cal/pref/9/211.aspx?addr=1>)でお越しください。その際野球場からはアクセス禁止なのでご注意ください。

5 競技会場レイアウト図



6 走順票の提出

選手権クラス

- ・提出期限 1月25日（水）24時必着厳守
- ・選手権クラスの提出用「走順票」は、大会ウェブサイトに掲載しています。
- ・走順票に、各クラスの登録名簿の正選手及び補欠選手の中から走順欄に競技者登録番号、選手名を記入の上、郵送、FAXまたはE-mail で下記宛提出してください。（E-mail による場合は、大会ウェブサイトに掲載のエクセルシートを必ずご使用ください。）

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 4階

（公社）日本オリエンテーリング協会

「全日本リレー」係

FAX 03-5843-1913

E-mail entry@orienteering.or.jp

- ・**1/25までに走順票の提出がなかったチームは、プログラム記載の名簿順を走順とします。**
- ・選手権クラス最終走順一覧表は、大会webサイト及びラップセンターで公開します。
- ・走順票提出後、急病等の緊急事態により選手が出場できない場合、同一クラスの他のチームおよび補欠登録選手に限り選手交代の申告ができます。団長もしくは監督は、選手交代の理由並びに内容等を明記した書類に署名し、大会当日9時30分までに大会本部へ申告してください。交代の可否は、競技責任者が決定します。本処置により出走を取りやめた選手は、本大会全ての競技に出場できません。

一般クラス

- ・提出期限 2月5日（日）午前9時00分
- ・一般クラスの提出用走順票は、大会ウェブサイトに掲載しています。また、会場内受付にも用意します。申込時（本プログラム掲載内容）から選手・走順に変更のあるチームは、走順票を受付に提出してください。チーム名変更はできません。
- ・成績速報の選手名は、プログラム掲載内容にて表示される場合もあります。

7 トレーニングイベント

- ・トレーニングコースの開設はありません

8 テクニカルミーティング

日時：2月4日（土） 16:20～16:50

会場：全日本スプリント会場（栃木県真岡市井頭公園）にて

テクニカルミーティングでは、競技説明・質疑応答等を行います。

SIカード・競技地図・等は翌日の朝の受付でお渡しいたします。

事前に質問のある方は連絡願います。

送り先：entry@orienteering.or.jp

9 開会式

日時：2月5日（日） 9:30～9:45

会場：緑新スタジアムY A I T A（矢板運動公園陸上競技場）

式次第

- ・開会宣言（実行委員長）
- ・矢板市長挨拶
- ・選手宣誓
- ・競技の流れをデモンストレーションで説明

10 競技情報

競技形式

リレーオリエンテーリング（1チーム3名）

競技規則

「日本オリエンテーリング競技規則」による
競技用地図【要項発表から縮尺変更します】

地図：「番匠峰古墳2023」 全域修正

縮尺 1:7,500（すべてのクラス）

等高線間隔 5m

図式：ISOM2017-2 準拠

A4判、カラープリンタ印刷、ポリ袋封入済

今回のコースの都合で（読図をしやすくする
為）パープル加刷記号は、7500分の1で印刷した
時に1:10,000での規定の大きさのものと同じにし
てあります。

以下1:7,500の1地図での大きさ

コントロール○ 太さ0.52ミリ（規定は0.7ミリ）
径7.5ミリ（規定は10ミリ）

レグ線 太さ0.52ミリ（規定は0.7ミリ）

回る順数字 21ptで白抜き数字（規定は31.4pt）

その他のパープル加刷使用記号も同様

特殊記号

×（黒）：人工特徴物（祠・墓など）

地図調査

高野 兼也による修正調査

（調査期間 2022年12月～2023年1月）

競技用地図の配布

・大会大会当日の受付にて、競技用地図とSIカード（SPORTident 社電子式カード）、ナンバーカードをすべてのクラスにおいてチーム単位で封筒に入れて配布します。欠席のチームがある場合にはスタート開始前に直ちに受付まで袋ごと返却下さい。

・欠席チームの地図は、繰り上げスタート後に再度受付に来ていただければお渡し致します。

競技用の地図の包装状態

・地図は、防水用のポリ袋に封入（シーリング加工）した状態で2つ折りにされ、開かないよう粘着力の弱い紙テープで止めてあります。出走前に紙テープを外して地図を見ることはできま

せん。紙テープが外されていることが判明した場合は失格となります。

・地図の裏面には、ナンバーカードと同じ数字が印刷されています。ポリ袋に封入された状態で確認することができます。誤って他の走者の地図を持って出走することのないようにしてください。1の位の数字が走順を表します。

トレインプロフィール

慣れ親しんだ矢板運動公園から最も至近のトレイン「番匠峰古墳」を全域にかけて修正調査したものである。周辺の森に少し入り矢板運動公園をフィニッシュとする公式試合は、第32回全日本大会（2006/3/26）や近くはインカレロング（2021/11/21）など何度も行われているが、「番匠峰古墳」エリアそのものを試合場とするのは、なんと2002/3/10インカレリレー以来となる。今の大学生低学年がまだ生まれていない年代である。

標高 200-300mに位置する里山を中心としたトレインで、いくつかの山塊の間に耕作地・民家が存在していて道路が入り込んでいる。山林内にも舗装された道が存在し、昔からの生活道（小道・小径）も発達している。走行の障害となるような岩石地は見られない。

山林内は概ねなだらかであるが一部に急な斜面も存在する。通行可能性は、良い所、悪い所、色々存在するが昨今は植生状態の劣化が激しい。下草により走行可能性が低下するところもある。一部には細かい浸食地形も見られる。また近年の傾向として重機を縦横無尽に入れることで、多数の林業造成道を生成しているエリアも散見される。

近隣の矢板トレインと同様、如何にヤブをうまくさけて、正しい方向を定め果敢に突っ込むか、戦略的なルートチョイスをとれるか、加えて基本的な地形読みができているか、冬の矢板はまさにオリエンテーリングのピュアな実力が問われるトレインであると云える。地図読みしながらヤブを突っ切る課題も絶対にあることから、肌を露出しない服装で走ることを強く推奨する。

コースの特徴

- ・スペクテーターズレーンが2度あり、応援のしがいがある。(給水もチームメイトからここで)
- ・ISOM地図で読図しきれる範囲で、運動公園内にもコントロールは沢山設定されている。また、見るからに最短ルートと判断できるルートを青黄テープで塞ぎ、それ以外でルートチョイスを問うスプリントオリエンテーリング的課題も設定されている。
- ・フォレスト部分では、改訂を施す度に悪い方向への植生劣化が目立つ。それでも残る走行容易区間や走行可能区間を200~300mの直進地図読みと走りや登りでつなぐようなコースとなっている。

コース情報

クラス	距離	登高	優勝設定時間	競技時間
【選手権クラス】				
ME	5.9~6.0km	305~320m	135分	270分
WE	4.7~4.8km	230~240m	120分	240分
MS	5.5~5.6km	290~300m	135分	270分
WS	3.7~3.8km	170~190m	120分	240分
MJ	5.3~5.4km	270m	135分	270分
WJ	3.2~3.3km	130~140m	120分	240分
MV	4.8~4.9km	230~240m	135分	270分
WV	3.3km	150~160m	120分	240分
XV	3.4~3.5km	160~170m	120分	240分
XJ	3.2~3.3km	130~140m	120分	240分
【一般クラス】				
R1	5.5~5.6km	290~300m	135分	270分
R2	4.8~4.9km	230~240m	135分	270分
R3	3.4~3.5km	160~170m	120分	240分

(※コース設定の都合により、XJの優勝設定時間を80分→120分に変更しています。)

上記距離の表記(地図上の位置説明の表記も同じ)は中継(チェンジオーバー)ゾーンからスタートフラッグ(△)までの距離を含んでいます。

(競技地図にチェンジオーバーから△までの誘導の記載はありません。)

変更の場合はテクニカルミーティング会場で発表するとともに、公式掲示板に掲出します。

全クラスとも、レイアウト図に示すように途中2回のスペクテーターズ区間があります。さらに

Lap Centerのライブ中継(→中間速報)を利用して前走者の接近情報を得てください。



ラップセンターのURLです。

服装・シューズ

- ・特に制限はありませんが、身体の露出の少ない服装を推奨します。また、ピン付きシューズの使用についても特に制限はありません。

電子パンチングシステムについて

・本大会ではSPORTident社製パンチングシステムを使用します。全クラスともに、主管者が配布するSIカードを使用します。個人所有のSIカードの使用はできません。また、今回使用するカードはSIAC(タッチフリー)には対応しておりません。必ずステーションの穴に音がするまでカードを差し込んで下さい。

・各チームに第1~第3走者用SIカード3枚を地図とともに封筒に入れて配付します。SIカードの使い回しは認めません。各選手は自分のチーム・クラス・走順が記載されたSIカードを必ず使用してください。指定以外のSIカード(他の選手のSIカードや個人所有のSIカード)を使用した場合は失格となります。

・SIカードを紛失・破損した場合は損害金8,000円を申し受けます。脱落防止用のゴム紐と簡単な使用説明書を同時に配布しています。

・SIカードの操作に不慣れな競技者は、経験者から前もって指導を受けてください。

・全ての選手はスタート枠、待機枠に入る前に必ずSIカードをクリアステーションに差し込みクリア(初期化)をしてください。次に、チェックステーションに差し込みSIカードのチェックをしてください。(ランプの点灯及び音を確認する。)その後、SIテストステーションにSIカードを挿入して動作することを確認してください。この処理を行わないとコントロールの通過

- 証明が記録として残りません。SIカードの動作が確認出来ない場合は係員に申し出てください。
- ・SIカードをユニットの穴に差し込んでください。それでも動作しない場合はコントロールにつけられているピンパンチで、地図のリザーブ欄にパンチしてください。
 - ・ピンパンチによるパンチは、SIステーションの故障でない場合に使用しても通過証明にはなりません。
 - ・SIカードに記録がなく、かつピンパンチによるパンチも無い場合は、失格（コントロール不通過）となります。
（参考：「競技規則等の運用に関するガイドライン」17項参照）

[コントロールで間違っただ記印をした場合の対処方法]

- ・同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合、最初のパンチのみが記録されます。2回以上パンチしても問題はありません。
- ・途中で間違っただコントロールでパンチした場合も、そのまま正しいコントロールに行きパンチしてください。間違っただコントロールのパンチが記録されても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。
例1) 7→8→9と行くべきところ、7→9とパンチした場合⇒そのまま8に戻ってパンチをし、その後再び9をパンチします。
(7→9→8→9)
例2) 7→8と行くべきところ他のクラスのコントロールXでパンチした場合⇒そのまま8に行きパンチします。(7→X→8)

ナンバーカード

- ・選手は、配布されるナンバーカードを必ず胸側に見えるように水平に取り付けてください。サイズは192×160 mm、厚さ0.18 mmです。1の位の数字が走順を表します。取り付けは、安全ピンを4本以上使用するか、それと同様の手段で取り付けてください、**安全ピンは主催者側で用意していません**ので、各チームで準備してください。ナンバーカードを折って取り付けること並びにナンバー欄への追記は認めません。

コントロール位置説明

- ・コントロール位置説明は「ISCD2018」に準拠します。
各コースの位置説明は事前公開しません。

調査依頼・提訴

- ・調査依頼、提訴ともに、チームの代表者（団長もしくは監督）名で書面にて提出してください。
競技運営に関する調査依頼は、本部備え付けの指定用紙により速やかに競技責任者に対して行ってください。調査依頼の締め切りは、大会当日15:10です。ただし、成績速報に対する調査依頼は、速報発表後30分以内です。
調査依頼への回答は、競技責任者が書面にて行い公式掲示版に掲出します。
調査依頼の結果に対して納得できず提訴する場合は、本部備え付けの指定用紙により本部を通じ裁定委員に提出してください。提訴は調査依頼に対する回答の掲出後15分以内です。
・裁定委員は公式掲示板にて発表致します。

ドーピング検査について

1. 本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者は、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
3. ドーピング検査の対象となった本競技会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本競技会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参して下さい。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動

終了後 2時間の安静が必要となるので留意して下さい。

6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADA のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org>) にて確認して下さい。

公式掲示板

- ・競技に関する本プログラム掲載事項からの変更事項、重要事項等を掲示します。監督、選手は、必ず確認してください。
開会式会場および競技会場に設けます。

表彰

- ・繰り上げスタート終了後、成績が確定したクラスから、順次インタビューボード前にて表彰式を行います。ただしME WE クラスの表彰および団体総合表彰は、一般クラスおよび他の選手権クラスの表彰終了後に行います。
- (1) 選手権クラス表彰
- ・ME WE クラス優勝チームを日本選手権者とし、上位6位までを表彰します。他の選手権クラスは上位3位までを表彰します。
- (2) 団体総合表彰
- ・都道府県ごとにME およびWE クラスの得点と、その他の選手権クラスの中で成績の良い4クラスの得点とを合計し、一番高い得点の都道府県を総合優勝として優勝旗と優勝杯を授与し、6位までを表彰します。
総合優勝の都道府県には、スポーツ庁長官賞が授与されます。
- ・得点の計算方法
 - ① 各クラスにおいては参加チーム数（最終走順提出時点での得点対象チーム数）に応じて得点を与える。
 - ② 同一の都道府県会員から複数チームが出場するクラスでは、最上位チームのみに得点を与え得点対象外のチームの順位は詰めて計算する。
 - ③ 複数の都道府県会員による連合チームには獲得得点をチームを構成する都道府県会員数で割った点数をそれぞれに与える。
 - ④ 上記以外で、競技時間内に完走したチームには、1点を与える。

- (3) 一般クラス表彰
 - ・3位まで表彰します。

11 当日の流れ

(1) 競技会場

「緑新スタジアムY A I T A（矢板運動公園陸上競技場）」（開場は8：30）

- ・スマホWEB体調体調シートが未入力の方は受付に用意してあるチェック調査用紙を提出してください。
- ・競技会場内において、受付をおこないません。競技用の地図・SIカードは、チーム毎にここで配布致します（都道府県選手団でまとめてあります）。
 - ・女子更衣室：
観客席下のトイレの並びに専用の更衣室があります。
- ・テント、タープの設営は可能です。但しフィールド競技場内はテント・ペグ禁止です。テント・タープテント設営の場合は、レイアウト図で示されたトラック外側のエリアを利用して下さい。
- ・テント・タープの撤去後は、清掃及び地面の原状回復をお願いします。

(2) 受付

8：30～9：45

- ・競技に必要な物品（SIカード、競技用地図（封入済み）、ナンバーカード及びその他大会に関する情報等）を、受付でチーム毎に受け取ってください。その際、参加しないチームがあれば、その地図とSIカードは受付に返却してください。
- ・コンパスの貸し出しは行いません。

(3) ウォーミングアップエリア

- ・ウォーミングアップはトラック内側で行い、施設の外側には出ないで下さい。（運動公園内もすべて競技エリアです。）

(4) 第1走者のスタート招集

MEクラスは10：20に招集します。以後のクラスは各々5分前に招集します。遅刻者は出走できません。

- ・各クラスの第1走者のスタートエリアは、レイアウト図の待機枠の場所になります。
- ・第1走者はスタートエリアに各自が競技で使用する地図を持参してください。
- ・スタートエリアに入る前に、SIカードのクリア・チェック・テストステーションでの動作確認をしてください。動作しない場合は係員にお知らせください。
- ・スタートエリアに入ったら、係員の指示に従って横1列に整列し、係員の点呼を受け、そのまま待機してください。

(5) スタート

10:30 ME

10:35 WE/MS/WS

10:40 MJ/WJ

10:45 MV/WV/XV/XJ

10:50 R1/R2/R3

- ・号砲により一斉スタートです。
- ・スタート地区での整列順は役員の指示に従って下さい。
- ・号砲の後に、地図の紙テープ止めを外して地図をみるができます。
- ・地図上のスタート地点（△表示）までは「赤・白」テープに従ってください。ショートカットした場合は失格とします。狭いところでは他の人と接触しないよう注意してください。

(6) 給水所

給水所はありません。但し、2か所のスペクテーターズレーンにおいて自ら用意したもしくはチーム仲間からの給水を受けることは構いません。

(7) 中間通過情報と次走者準備

- ・全コースにおいて、会場から容易に視認できる範囲で2度のスペクテーターズレーンがあります。2度目のスペクテーターズレーンを通過したら次走者は出走の準備をして待機枠にお入り下さい。
- ・スペクテーターズレーン通過後フィニッシュまでの所要時間はクラスによってかなり違います。
- ・通過情報の放送を行うことがありますが、すべての選手に対して行うものではありませんし、中継のために責任をもつ広報手段でもありません。

・次走者への通過情報の伝達は、Lap Centerの中間速報なども利用して各チームで行ってください。

- ・次走者は、次走者待機枠に各自が競技で使用する地図を持参してください。待機枠に入る前に、地図の封印を破くことはできません。
- ・次走者待機枠に入る前に、SIカードのクリア・チェック・テストステーションでの動作確認をしてください。動作しない場合は係員にお知らせください。
- ・誤って次走者待機枠に入った選手は、地図の封印を破いていなければ、次走者待機枠の外に出ることができます。封印を破いてしまった場合には枠外に出ることを禁止します。
- ・中継は、チェンジオーバー地点で前走者が次走者に接触（タッチ）する事により成立します。不完全な場合は中継判定員が警告を発し、やり直しを求めます。
- ・次走者が次走者待機枠にいない場合、前走者は係員の指示に従い、後続の走者の邪魔にならない位置で次走者が来るまで待機してください。
- ・中継を終えた前走者はそのままフィニッシュステーションに差してパンチしてください。その時刻がフィニッシュ時刻として処理されます。
- ・中継は、繰り上げスタート時刻をもって終了となります。
- ・競技を途中でやめた場合は、帰還後本部へSIカードを必ず返却してください。
- ・SIカード紛失の場合は本部に必ず申告してください。

(8) フィニッシュ

- ・最終コントロールからフィニッシュまでは「赤・白」テープ誘導となります。スペクテーターズレーン2の始まりと共用です。右側のレーンに入って下さい。【レイアウト図参照】
- ・次走者との中継を終えた第1、第2走者、およびフィニッシュラインを通過した第3走者は、そのままレーンを進み、SIカードをフィニッシュステーションに差してください（パンチングフィニッシュ）。誘導に従ってカード読み取り所にて、SIカードを差し込んでください。全てのSIカードをここで回収します。
- ・その後12:30（予定、戦況によって変動あり）

までは、フィニッシュした方は用意してある封筒に地図を入れてお持ち帰り下さい。当日アナウンスする指定の時刻まで地図を見ることはしないで下さい。

- ・第3走者の着順は、パンチングフィニッシュの順番で判定します。フィニッシュラインの通過後はフィニッシュステーションにパンチするまで順番を変えないで下さい。
- ・競技を途中でやめた場合は、帰還後本部へSIカードを必ず返却してください。
- ・SIカード紛失の場合は本部に必ず申告してください。

(9) 繰上げスタート 13：40（予定）

- ・13：40（予定）までに中継ができなかった未出走者は、繰り上げスタートになります。なお、繰り上げスタート時刻は、レースの進行状況により変更となる場合があります。
- ・当該選手は13：30（予定）に次走者待機枠に集合してください。
- ・繰り上げスタート直前まで、前走者との中継を認めず。中継完成の成否判断は中継判定員が行います。
- ・13：40（予定）の号砲により一斉スタートしてください。
- ・繰上げスタート以降中継所を閉鎖します。
- ・繰り上げスタート者の競技可能時間は90分です。

(10) 成績速報

モニターディスプレイでリアルタイム速報予定です。インターネットを介しても提供する予定です。都道府県対抗の団体戦の戦況もリアルタイムで速報致します。

(11) 競技終了

- ・15：10にフィニッシュを閉鎖します。
- ・全ての競技者は競技途中でも、この時刻までに必ずフィニッシュに帰還してください。

(12) 表彰式・閉会式

- ・表彰式は、繰り上げスタート終了後、成績が確定したクラスから、順次競技会場イベント広場にて表彰式を行います。ただしME、WEクラスの

表彰および団体総合表彰は、一般クラスおよび他の選手権クラスの表彰終了後に行います。

- ・閉会式は、15：10（予定）から行いますが、表彰式の進行状況によっては、早める場合もあります。

(13) その他

- ・競技を棄権したチームは、本部へその旨を伝えSIカードを取りまとめ返却してください。
- ・地図返却は、繰上げスタート後に本部前付近で行います。
- ・地図販売は、繰上げスタート後に本部で行いません。全コントロール図700円、コース図500円です。数に限りがあります。
- ・成績表送付希望者は、本部にて所定の申込手続をしてください。1部500円です。なお成績は、大会ウェブサイト公開します。

12 留意事項

(1) 写真撮影について

- ・本競技会への参加者、観戦者は競技の様子として、また競技や会場の風景として、主催者や報道機関に撮影されることがあります。これらの写真を報告書や広報に使用することがあります。この点ご了承下さい。

(2) 救護・救急

- ・けが人等の救急を要する選手をみつけた場合には救助に協力し、速やかに大会スタッフに知らせて下さい。けが人の救助は競技続行よりも優先します。
- ・競技会場に看護師は待機していますが、救護などの為に救護所に不在の場合があります。救護所では簡単な応急手当のみが可能です。万が一に備え「健康保険証」「お薬手帳」等を持参して下さい。
- ・救急車の要請は、大会本部を通じて行いますので、本部または競技用地図に記載している緊急連絡先に連絡願います。

(3) 損害・保険

- ・大会において自分自身が受けた被害、第三者に与えた損害に対して、主催者は一切責任を負いません。

- ・ 行事賠償責任保険及び傷害保険は主催者で加入しますが、限度があります。
- ・ 大会への参加は、自分自身の健康状態を十分考え、絶対に無理はしないこと。また、参加者が自分自身あるいは第三者へ与えた損傷、損害、損失については、主催者・主管者はその責任を負いません。
- ・ 今後とも、本テレインが利用できますよう、地

元の皆さんに挨拶をして頂くとともに、会場をきれいに丁寧にご利用ください。

(4) 大会要項等の案内について

- ・ 今後の大会開催要項などについては、会場内に場所を用意しますので利用してください、申請は不要です。

13 選手団一覧

NO.	都道府県	ME	MJ	MS	MV	WE	WJ	WS	WV	XJ	XV	総計
1	北海道	2	1									3
3	岩手県	2				1					1	4
4	宮城県	3	1			1						5
7	福島県	1	1	1								3
8	茨城県	2	4	1	1	2	1					11
9	栃木県	1										1
10	群馬県	1	1		2						1	5
11	埼玉県	1	4	2	3	2	2	1	1		2	18
12	千葉県	5	2	1	2	2	1	1	1		1	16
13	東京都	5	2	1	3	1	2	1	1	2	1	19
14	神奈川県	5	2	1	3	3	2		1			17
15	新潟県	1	1			1						3
19	山梨県	1										1
20	長野県	2	2		1							5
21	岐阜県		1		1							2
22	静岡県	3	1	1	1	1	1	1	1			10
23	愛知県	3	2	1	3	2						11
24	三重県	1									1	2
25	滋賀県	1		1							1	3
26	京都府	3										3
27	大阪府		1		2		1					4
28	兵庫県	1	1		2	1					1	6
33	岡山県	1										1
34	広島県	1			1							2
40	福岡県			1							1	2
連合	奈良県・和歌山県				1							1
連合	福岡県・宮崎県				1							1
	合計	46	27	11	27	17	10	4	5	2	10	159

14 エントリーリスト

選手権クラスはラップセンター (<https://mulka2.com/lapcenter/static.jsp?event=7463&file=1>)
を参照ください。

一般クラス

NO.	一般クラス	チーム名	1走	2走	3走
1	R1	ラスポゴーラー	柴崎 愛有	池田 直人	長谷川 拓海
2	R1	飛鳥2951	前川 一彦	前川 一彦	前川 一彦
3	R1	長岡OLC	丸山 則和	ビューラヨールグ	古田島 貴之
4	R1	金谷川老人会	高野橋 侑大	結城 慧亮	伊藤 啓太
5	R1	辺七萬組合	石山 良太	橋本 知明	犬塚 眞太郎
6	R1	田舎出身OLK(2/3)	吉田 聖悟	遠藤 浩明	泉浦 旭秀
7	R1	稲毛二走、然役立	葛西 裕樹	稲毛 隆太	桑山 陽次
8	R1	おきのおさんぼ倶楽部	野村 恒裕	久慈 洋平	野村 恒裕
9	R1	東工大OLTa	古寺 功明	山崎 嘉津人	近藤 慶音
10	R1	東工大OLTb	河野 弘士	飯野 正太郎	時任 俊輔
11	R1	東工大2020	宮川 靖弥	倉田 瞭一	小寺 義伸
12	R1	ばななん	内木 睦	小島 優唯	河内 絵里香
13	R1	いっちーず改	坂本 慧	羽鳥 汐音	市橋 駿
14	R1	写真撮ろうよ18年度入学	村田 千真	名雪 青葉	若月 俊宏
15	R1	滋賀県R1	玉木林哉	玉木圭介	玉木林哉
16	R2	ちゅ〜る大好き	日下部 正英	日下部 朝美	日下部 正英
17	R2	JDOA	尾田 継之	堤 大揮	辻 悠佳
18	R2	筑波1988	永井 直樹	大和 文久	鈴木 潤一
19	R2	岩手MIX	畑中 志乃	君成田 智裕	高橋 稔弥
20	R3	「ガンガンいこうぜ」	大河原 穰	大森 晴輝	上沢 空良
21	R3	緒方家1/2	緒方 美智	緒方 美智	緒方 美智
22	R3	東京都一般	大里 真理子	前田 格	杉本 光正
23	R3	岐阜県一般	橋本 八州馬	鹿野 勸次	正山 阿智
24	R3	福島県老人会	佐藤 繁	廣田 雅幸	加藤 一郎
25	R3	佐賀はMJXJ希望広島	清水 溪杜	小比賀 草太	中里 一翔

本様式に必要事項を記入して、宿泊施設より宿泊証明の押印を頂き、リスタート後大会本部に提出して下さい。特典として第 31 回全日本リレーオリエンテーリング大会の全コントロール図を先着 100 名様に進呈致します。(宿の押印なきものは無効です)

宿 泊 証 明 書

下記のとおり矢板市内施設に宿泊があったことを証明致します。

団体名：公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

大会名（種目名）：第 31 回全日本リレーオリエンテーリング大会

宿泊日：令和 5 年 2 月 4 日（土）

宿泊者：団体の場合は氏名を列記してクラブ名を記入（上に同じと書いても可）下さい

氏名	住所(市町村名までで字や番地は不要)	クラブ名

以上

様分

令和 5 年 2 月 4 日

宿泊施設名
所在地
名 称
代表者

Ⓔ

※証明書は、宿泊施設ごとにもらってください。
※宿泊施設の法人印がない場合は無効となります。

来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



公益財団法人 日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee



つめたいから、 あたたかくなれる。

できたてのアツアツを凍結させたり。
食材を冷凍して長持ちさせたり。
氷が大好きなペンギンくんたちも
ビックリの凍らす力で、おいしさを生みだす。
それがニチレイの「冷力(れいりょく)」です。
ニチレイは、この「冷力」をつかって、
さまざまな事業を展開しています。
新しいアイデアで生みだした健康的なおいしさを、
日本最大の低温物流ネットワークで、今日もあなたの食卓へ。
これからもニチレイはおいしさを、
みんなのあたたかい笑顔につなげていきます。

<http://www.nichirei.co.jp/>



おいしい瞬間を
届けたい